

地域がん登録ってなに？

(滋賀県全がん患者登録管理事業)

がんは国民の死因の3割を占め、20年以上死因のトップになっており、滋賀県でも年間約3千人の人が“がん”で亡くなっています。がんで死亡する人を減らすためには、がん予防対策やがん医療活動が有効かつ効果的にされているかを評価する資料が必要です。そのためには、がんと診断された患者を登録し、がんの発生率（罹患率）受療状況、生存状況などを正確に把握するシステムが必要になります。このシステムのことを“地域がん登録”といいます。滋賀県の地域がん登録は、県の事業として、県医師会、県内医療機関の協力のもとに、昭和44年から始められています。

今年度より、県の組織改編により当センターにおいて、地域がん登録を行っています。

そのデータを一部紹介します。図1と図2は滋賀県の年齢階級別罹患数の状況を示しています。男女とも、ほとんどのがんが50歳代から増加し、60～70歳代で最も多くなっています。しかし、女性の乳がんは30歳代から、子宮がんは20歳代から増加し、40～50歳代で最も多く、60歳代以降は減少しており、他のがんとは異なる傾向がみられます。

今後は、ホームページを立ち上げ、このようながんの罹患等の情報を提供していきたいと考えています。

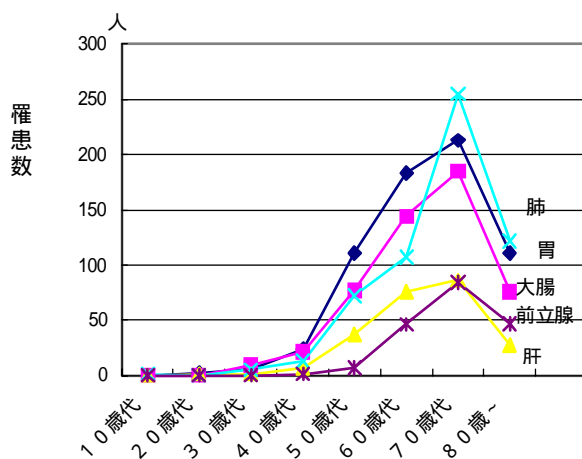


図1 年齢階級別罹患数（男性）

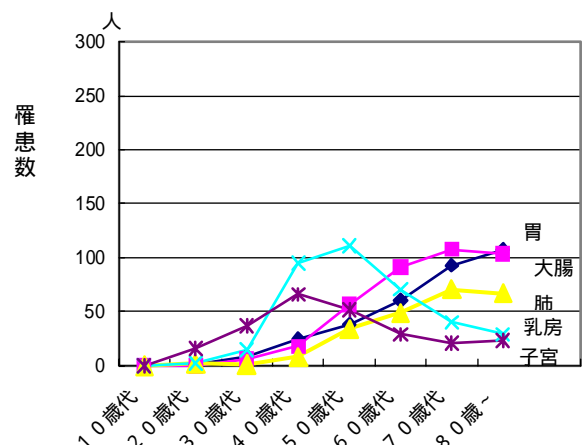


図2 年齢階級別罹患数（女性）

データは、2004年罹患数（医療機関等からの届出分）